令和3 (2021) 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	地域産業政策(Regional Industry Policy)				担当教員	牧野 智一			
科目コード	393135-14120			(マキノ トモカズ)		1ズ)			
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位数	2	配当年次	3年次	開講期	前期
科目特性	地域志向科目 / 知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要

地域産業政策とは、国や地方自治体が地方の経済・産業振興のために行う政策である。長引く不況の中、大都市圏と地方の間の経済格差が大きな問題になっている。この地域間の格差を解消し景気を回復するためには、地域産業に対する振興政策により地域の活性化が必要となる。

本講義では、地域産業政策の効果や各地で行われている地域産業政策について学修する。本講義の最終的な目的は、地域産業政策に関する理論についての知識を身につけた上で、現実に行われている政策の諸問題を自らの判断で考察する能力を養うことである。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

地域社会に貢献する姿勢 / 職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力 / 情報収集・分析力を養う。

③ 授業の進め方・指示事項

講義形式の授業を行う。各回の授業内容は関連しているため、十分な復習をした上で授業に臨むこと。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

「マクロ経済学」「ミクロ経済学」の知識を有すること。「地方行政」「地域経営」と共に履修することを推奨する。

⑤ 標準的な達成レベルの目安

- (i) 産業の社会における役割や地域産業の地域における役割を説明できる。
- (ii) 地域産業政策の政策領域や産業領域、担い手について説明できる。
- (iii)実際に取り組まれている地域産業政策を調べ、地域産業政策について考察することができる。

⑥ テキスト (教科書)

なし。適宜、資料等のプリントを配布する。

⑦ 参考図書·指定図書

伊藤正昭(2011)『新地域産業論』学文社

河藤佳彦(2008)『地域産業政策の新展開』文眞堂

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合				70%		30%		100%
(i) 産業の社会における役				15%		5%		20%
割や地域産業の地域にお								
ける役割を説明できる。								
(ii) 地域産業政策の政策				15%		5%		20%
領域や産業領域、担い手に								
ついて説明できる。								
(iii)実際に取り組まれてい				40%		20%		60%
る地域産業政策を調べ、地								
域産業政策について考察								
することができる。								
フィードバックの方法	提出されたレポートの内容についての総評を公表する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)

昨年度に引き続き、学生諸君が授業内容を理解しやすいように、わかりやすい表現と丁寧な解説を心掛けて授業を行う。

10	授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間(分)		
1	オリエンテーション	筆記用具	地域産業政策の必要性を自分なり の考えてくる	60分	
2	産業とは	筆記用具	産業に対する理解	60分	
3	産業の社会における役割	筆記用具	産業の社会における役割の理解	60分	
4	地域産業の地域における役割	筆記用具	地域産業の地域における役割の理 解	60分	
5	地域産業政策の概念① (産業政 策と地域政策)	筆記用具	産業政策と地域政策についての理 解	60分	
6	地域産業政策の概念② (中小企 業政策との関連性)	筆記用具	中小企業政策と地域産業政策の関 連性の理解	60 分	

7	地域産業政策の政策領域	筆記用具	地域産業政策の政策領域について	60 分
'			の理解	
	地域産業政策の産業領域	筆記用具	地域産業政策の産業領域について	60 分
8			の理解	
	地域産業政策の担い手	筆記用具	地域産業政策の担い手と関連につ	60 分
9			いての理解	
1.0	地域資源と地域の産業特性	筆記用具	地域資源と地域の産業特性の関係	60 分
10			の理解	
	地域産業政策の現状①(県外に	筆記用具	新潟県外の産業政策の現状の理解	60分
11	おける例)			
1.0	地域産業政策の現状② (新潟	筆記用具	新潟県の産業政策の現状の理解	60 分
12	県)			
1.0	地域産業政策の現状③ (県内市	筆記用具	県内市町村の産業政策の現状の理	60 分
13	町村)		解	
1.4	地域産業政策の課題	筆記用具	地域産業政策の現状と課題につい	60分
14			ての考察	
1.5	まとめ	筆記用具	各回の講義内容の整理と理解	60分
15				
		l	1	

① アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。各回の授業に対するコメント(感想・質問等)を学生諸君よりもらい、翌週の授業で可能な限りコメントに対する回答を行い、学修効果の向上に活用する。

※以下は該当者のみ記載する。

ふめ」では以当台 ジップ に戦 する。				
⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
実務経験と授業科目との関連性				